

## 令和3年度第2回福井県立図書館運営懇話会 開催結果

日 時 令和4年3月4日（金） 14：58～16：10

場 所 県立図書館 研修室

出席者 （委員）石田弥生委員、勝木健俊委員、佐藤実紀代委員、塩出周子委員、多田健太郎委員、長岡亜生委員、宮下奈都委員、湧口真委員 欠席：杉谷佳代子委員  
（事務局）県立図書館

### 新委員紹介

- ・学識経験者の後任として、長岡亜生委員が就任

### 議事（1）令和3年度の利用・事業実績について

- ・利用状況
- ・令和3年度第1回運営懇話会でのご意見
- ・下半期事業実績
- ・今年度の取組と達成状況

### 議事（2）令和4年度取組について

- ・令和4年度取組と達成目標

### 議事（3）その他

- ・利用者アンケートについて

### （主なご意見）

- ・コロナ禍の中でも貸出冊数がほとんど減っていないことは評価できる。
- ・「覚え違いタイトル集」の発行部数8万部は、ベストセラーと言える。もっと誇ってよい。
- ・現在流通していない古い作品を読書会で取り上げ、図書館で所蔵していたので読むことができた。古いものでも図書館へ行けばある、という安心感がある。
- ・大学図書館にも所蔵していない専門的な資料を県立図書館で所蔵している。また、司書に相談して多種多様な資料を紹介してもらい、大変役立ったという声を聞いた。
- ・図書館を利用しない人へのアプローチが重要。ドラマやアニメなど様々な切り口から本を紹介し、図書館に興味を持ってもらうようにするとよい。
- ・図書館に入場制限がかかった場合でも、何らかの形で利用できるよう考えるとよい。
- ・図書館自体がSDGsに取り組むことを考えてはどうか。
- ・保護者向けに図書館司書が本の情報提供をするなど、連携できるとよい。
- ・大学生にもっと読書をしてもらえるよう、職員に大学へ来てもらって講座をするなど、大学と連携してもらいたい。